

かんばしの風

令和6年8月29日
富士市立田子浦中学校
学校だより9月号

校訓 『美に挑む』
学校教育目標 『自分から ~つながる~』
重点目標 『たくましさ やさしさ』

パリオリンピックから思うこと

長い夏休みが終わり、笑顔の子どもたちが、久しぶりに学校に戻ってきました。学校の中に子どもたちの賑やかな声が響き渡っていることは、とても嬉しいことです。

夏休み中は、巨大地震注意の発表から巨大地震警報への対応をする可能性もあり、緊急な対応を余儀なくされる時もありました。しかしながら、大きな地震や事故等の報告もなく、学校生活をスタートできたことを、職員一同大変嬉しく思います。

今年の暑さは、異常なくらいの厳しさで、お彼岸を過ぎてまだまだ暑い日が続いています。「地球温暖化から地球沸騰化の時代へ」というようなことも言われていますが、学校では、夏休み明けも熱中症への対応をしっかりと行い、子どもたちが安全に生活できるように努めていきます。

さて、パリオリンピックにおける日本のチームや選手の活躍により、日本全体が盛り上がりました。SNSや審判などの件についても話題になりましたが、選手は、みんな自分の夢や目標をしっかりとって練習に取り組み、オリンピックの大舞台で力を発揮していました。そのような姿を見て、改めて選手たちのすばらしさを実感しました。一人一人がもてる力を十分に出して、世界の強豪と堂々と渡り合っている姿は、見ている私たちに、勇気と感動を与えてくれたと思います。人は、夢や目標をしっかりとっていると、それに向かって進むことができます。

また、どの競技の選手の人たちも皆、試合後のコメントの中で、「感謝」「仲間や家族の支え」などの言葉を口にしていました。自分の夢を叶えるためには、自分自身が努力することはもちろん大切ですが、家族や仲間の支えがあったからこそ、達成できるということを選手の言葉から実感しました。その人の可能性を信じてサポートしたり、一緒に練習したり、背中を押してくれたりする仲間や家族の存在が、夢や目標の達成にいかに大事であるかを学ぶことができました。

本校の子どもたちにも、ぜひ夢や目標をしっかりとって、日々の生活を送ってもらいたいと思います。そのために、私たち教職員一同、子どもたちの可能性を信じ、子どもたちの立てた目標を達成できるよう励ましたり、支援したりしていきたいと思います。

御家庭におかれましても、子どもたちと夢や目標について話をし、その実現に向けて背中を後押していただきたいと思います。夏休み明けもよろしくお願いいたします。

【9月1日は防災の日 備えを万全に！】

防災の日は、関東大震災日にちなみ1960年に制定されました。今年度の防災の日は、日曜日に開催され、全国各地でも災害を想定した訓練が実施されるようです。自然災害はいつ何時起こるか分かりません。中学生は、地域の即戦力になります。防災意識が高まっているこの時期に訓練に参加したり各家庭で備えを再確認したりするなど、防災対策の見直しをしてみましょう。

御家庭や地域、学校が協力して災害に備えていきましょう。